

平成 31 年度事業計画書

(自 2019 年 4 月 1 日 至 2020 年 3 月 31 日)

公益財団法人内子町国際交流協会

<基本方針>

内子町国際交流協会は、国際的な視野と実践力を備えた人材を育成し、もって活力ある地域社会の形成に寄与することを使命として、20 年以上にわたり活動を続けてきた。今年度も事業の柱である「青少年海外派遣事業」をはじめ、以下に記す事業を効果的に実施する。

I. 交流促進事業

1 意識啓発・情報発信事業

(1) 機関紙「ゆうていあ」の発行

協会が実施する各種交流事業の紹介や活動状況を町民に P R し、国際交流・国際理解に対する認識を高めるための記事を内子町の広報紙「広報うちこ」へ掲載する。

発行時期：毎月 1 回（12 回）

規 格：広報うちこ（A4 版）

(2) ウェブサイト運営

インターネットにより、国際交流等に関する情報を収集するとともに、ホームページを通して当協会の活動を広く国内外に発信する。また、Facebook もできる限り活用する。

(<http://utia.jp>)

(3) 先進地視察研修

持続可能な協会づくりのため、先進的な活動事例を学ぶとともに、各種団体との交流とネットワークの形成を図る。例) 他県協会の先進事例等

2 各種講座運営事業

(1) 国際理解講座（一般向け）

高校生以上を対象として、海外についてわかりやすく紹介する講座を実施する。

(2) 外国語講座

ア. 一般の町民を対象に、英語・ドイツ語の 2 言語、5 コースを開講する。受講生のニーズに沿った充実した講座を提供できるように努める。

[英語]

- ・「英語の世界へようこそ」では、入門レベルの方を対象に、基礎から英語を学び、中学校で習ったレベルの文法や構造を習得することを目標とする。
- ・「英語で伝えましょう！」では、中学校で習った文法や単語を使って、簡単な日常会話ができるようになることを目標とする。
- ・「Let's learn English through the newspaper!」では、日常会話ができる方を対象に、英字新聞を使って「読む・聞く・話す・書く」をバランスよく学び、より高い英語力の習得を目標とする。